



学校だより

[校訓] 本気 勇気 根気

[重点] つなげよう

つながろう!

佐呂間町立若佐小学校

令和 7年 7月 22日

とんぐり

～うえる びーいんぐ～

佐呂間町立若佐小学校長 風 間 直 樹

あっという間に7月も半ばを過ぎてしまいました。大変遅くなりましたが、5月31日の合同運動会、そして6月に入り、町P連研究大会と大きな行事につきまして、準備から当日参加運営までたくさんの方に参加協力いただき、感謝申し上げます。

さて、前回、今年度の佐呂間町小中一貫教育や本校の重点「つなげよう、つながろう！」等についてお知らせしました。今回はその第2弾として、もう少し詳しく紹介します。

小中一貫教育の目的に、「ウェルビーイング(well-being)の向上」があります。

横文字、カタカナばかりで大変申し訳ありませんが、これからの時代を生きる上で必要なキーワードになります。**Well-being (ウェルビーイング) とは？**

「心も体も元気で、安心して、自分らしく生きられること」を表す言葉です。

英語の「Well=よい」+「being=存在していること」が合わさっていて、

個人や社会のよりよい状態を意味します。佐呂間町の小中一貫教育の目指す姿の中にも載っています。

たとえばこんな状態が、Well-being です：

子どもたちが、毎日楽しく学校に通い、自分の成長を感じられること

教職員が、やりがいを感じながら、安心して働けること

地域の人たちが、子どもたちとつながりを感じ、町に誇りをもてること

Being は英語で出てくる「be 動詞」の be で「いる、ある」の進行形になります。

～であること、～にいること。生存、実存、人生というような意味があります。したがって、well-being は、満足な、健康な存在（であること）=幸福となります。（ジーニアス英和辞典より）

コロナ禍以降、より一層いろいろな価値や多様性が認められ、社会が大きく変化してきています。経済的な成長、お金よりも幸福度や生活満足度が重視されるようになり、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあることが大事だとする考え方です。経済的な豊かさよりも心の豊かさ、身体の豊かさを重視する傾向もあります。今は転職も当たり前ですし、副業もありで、公務員でも認められる時代です。何が豊かさかと問われれば、とても難しい問題だと思っています。

「子どもたちが心身ともに健やかに、安心して学び、成長できる環境をつくること」そして、「生涯にわたり、学ぶことを喜びに感じ、自分らしく生きていく力を育むこと」

(by Chat GPT) が大事かと思います。

最初にも書きましたが、最近は横文字、カタカナ、略語が氾濫しております。今までなかったことや新たな取組なども増えてきています。みなさんと言葉と内容を共有しながら学校運営を進めていきたいと思っておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

子どもたちが安心して通える学校をめざして

新学年になって約3か月が経ちました。友達づくりや学習等について悩みをもっている子が始まる時期でもあります。先日学校でも「いじめ問題にかかる調査」を実施いたしました。

調査はもとより、学校では、日頃から子どもたちの様子を見守り、子どもたちからのサインを見逃さず、一人一人が安心して学校生活を送ることができるよう支えております。

また、「若佐小学校いじめ防止基本方針」を基にした児童交流と児童理解を行い、学級担任のほか、支援員、特別支援教育コーディネーターなど、できるだけ多くの教職員の目で子どもたちを見守り、全職員での指導に努めております。

現在、個人面談も実施しておりますが、保護者の皆様におかれましても何かお子さんの様子で気になることや、注意して様子を見てほしいこと等ございましたら、遠慮なくご相談ください。

なお、本校の「いじめ防止基本方針」は町内の学校 HP にも掲載しております。学校のホームページは移行しましたので、横の二次元コードからご覧ください。



若佐小学校 学習の一コマ



運動会



植樹



1~4年生昆虫教室



パーマ市交流



3・4年総合
「さるま学」
かぼちゃの苗植え



5年生 町内合同宿泊学習



突然ですが、次号より学校だよりは、HP 掲載とマチコミでの送信とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。